

KAJIMAROAD  
CSR報告書

2013



## Mission

新しい価値創造に挑戦し、  
人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する

## Vision

道からはじまる未来創造企業

### 編集方針

CSR報告書は「新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」という企業理念に向けた鹿島道路の取り組みについて、2010年より発行しています。

今回は2012年度の活動のうち重要性が高いと考えた項目について、特集や鹿島グループのCSRの枠組みに沿って編集しています。また、昨年の報告書のアンケートでいただいた多くのご意見ご感想を反映させていただき、これまでよりも内容の充実を図り、誰が読んでも分かりやすくお伝えできるよう心がけました。私たちはこの報告書がステークホルダーの皆さまとを結ぶコミュニケーションのツールとして広く活用されることを期待しています。

また、私たちは報告書の内容をさらに深化させていきたいと考えておりますので、CSR報告書に対する忌憚のないご意見をいただきたく、同封しておりますアンケートへのご記入をよろしくお願い申し上げます。

#### ●報告対象期間

2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)  
当該年度以外の内容も一部に掲載しています。

#### ●報告書対象組織

原則として鹿島道路株式会社単体の国内外全部門を対象としています。

#### ●発行時期

2013年9月(次回発行予定 2014年8月)

#### ●インターネットによる情報提供

鹿島道路ホームページ

<http://www.kajimaro.co.jp>

CSRの取り組み

<http://www.kajimaro.co.jp/corp/csr/index.html>

## CONTENTS

|                      |   |
|----------------------|---|
| 社長メッセージ .....        | 4 |
| 鹿島道路のCSR .....       | 5 |
| 鹿島グループが実践するCSR ..... | 6 |

### 特集

#### 鹿島道路の使命

- 多機能路面測定システム
- SKS工法
- ヒートスティック工法
- 道路高圧除染車 .....

CLOSE  
UP

#### SFRCボンド補強工法

—レインボーブリッジにおける施工事例— .....10

### 5つの基本姿勢

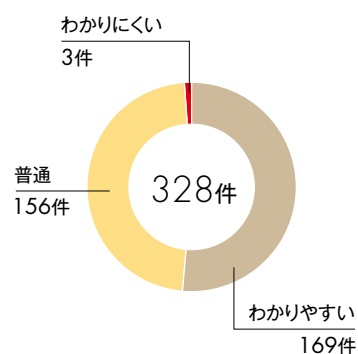
- コンプライアンスの徹底 .....12
- 働くことに誇りを持てる会社 .....14
- 地球環境保全と環境創造 .....16
- 地域社会との共生 .....18
- ステークホルダーとの  
コミュニケーション .....20

第三者意見 .....22

会社データ .....23

## 「CSR報告書2012」のアンケート結果

### ● 2012年版アンケート回答者数



全体的には、わかりやすい冊子だったというご意見を多数いただいたほか、  
以下のようなご意見をいただきました。

#### 2012年版でのご意見・ご感想

文字が多いページもあるので、  
写真や図を多くしてほしい

会社データページに、  
財務情報も加えてほしい

従業員以外の声も掲載してほしい

#### 2013年版での改善事項

写真や図、従業員の声などを充実させることを  
意識して編集しました。

新たに受注高・売上高・経常利益の  
財務情報も掲載しました。

協力会社の方、当社が事業活動を展開している  
地域の方など、従業員以外のステークホルダーの  
方達の声も掲載させて頂きました。

# 新しい価値創造に挑戦し、 人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する

### 誇りを持って使命を果たす

現在、建設業界が社会から求められていることは、大規模な災害に対して、人々の生活を守る防災・減災の強化をはじめとする強靱な国土・地域づくりに向けた対応と、今後20年で急速に増加する建設後50年を超える社会インフラの老朽化への対策として、維持修繕や更新などの再構築に取り組んでいくことであります。

社会インフラの中でも「道路」は経済活動の大動脈であり、人々の暮らしと大変密接な関係にあります。このような「道路」の重要性を自覚し、「道路」の建設や維持修繕、更新などの仕事に誇りを持って取り組むことにより社会的使命と責任を果たし、社会に貢献できるよう日々努力してまいります。特に橋梁の維持修繕を通した長寿命化には専門のグループをつくり、力を注いでまいります。



### 人を育てる

当社が継続して社会的使命と責任を果たしていくためには、人を育て、個々のレベルアップを図っていくことが欠かせません。当社では人材の育成に力を入れています。

当社は新入社員から中堅社員、管理職に至るまで幅広く、それぞれの部門（土木・建築・機械・合材製造・営業・事務）において、年代別・部門別に様々な研修を実施しています。さらに、研修後も上司が研修を受けた社員のフォローアップを日々継続して行い、スキルアップにつなげるよう取り組んでいます。

新入社員に対しては、配属部署とは別に先輩であり、指導・相談役となるメンターがサポートすることにより、相互の成長が期待されるメンター制度も採り入れ、相談しやすい、コミュニケーションの取りやすい環境づくりに努めています。

それぞれの社員の力量が向上することによって、社員全員が充実感や達成感を味わい、それらが社会への貢献に結び付いていくことを強く望んでいます。

### 新5Kの推進

私は2013年6月に社長に就任し、新5K（『期待される』『気概をもって取り組み』『将来に希望をもって』『快適な環境づくり』『感動する作品づくり』）というキャッチフレーズを発表しました。役員・社員一同がこの新5Kを推進し、業務に浸透させていくことによって、より価値の高い企業になることを目指してまいります。

これからも新5KとCSR活動を発展させ、ステークホルダーの皆さまにより一層信頼されるよう努力を積み重ねてまいります。

CSR報告書2013をお読みいただき、当社の活動に対してご理解いただきますとともに、ご指導ならびに忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

住吉正信

# 鹿島道路のCSR

## CSR活動方針

鹿島道路の企業理念である「新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」のもと、公正で開かれた企業を目指し、良質かつ適正な価格で社会資本の整備を担っていく事をCSRの基本としています。

### 鹿島道路のCSR活動方針

- 1.「お客様本位」と「品質本位」を第一義とする
- 2.「鹿島グループ 企業行動規範」の順守をすべての企業活動の大前提とする

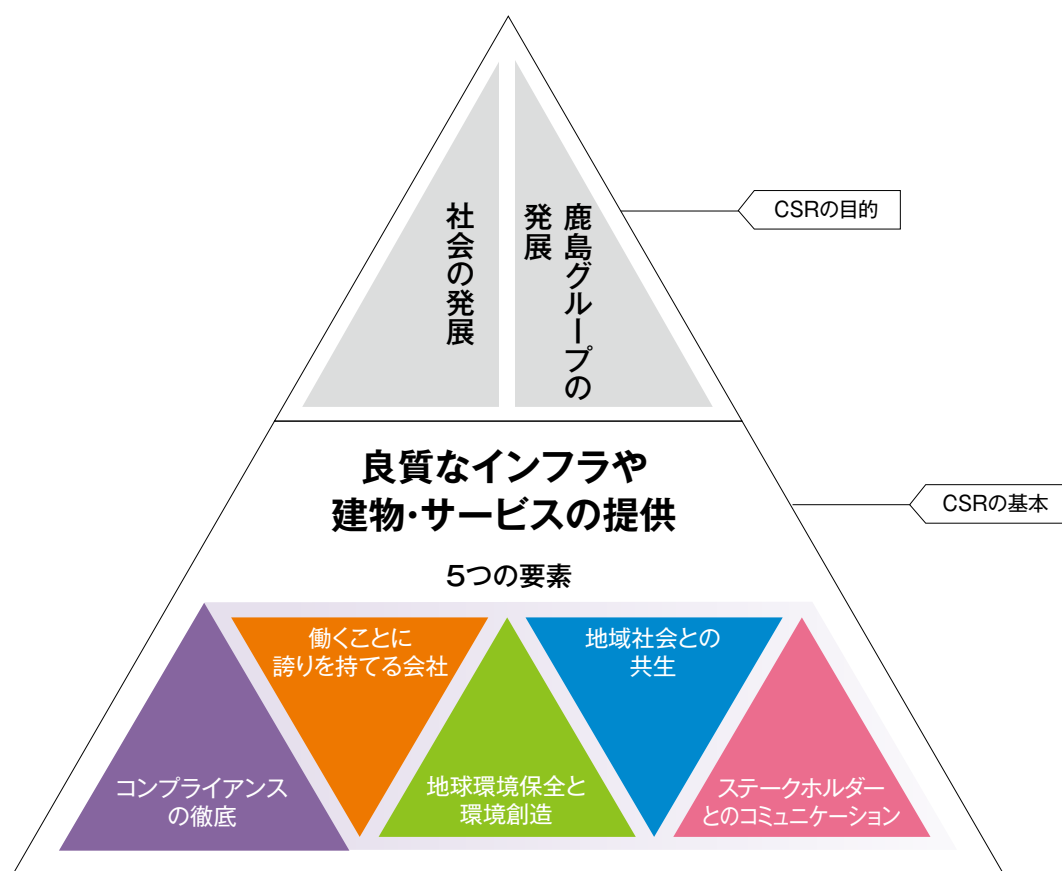
## CSRの取り組み基本方針

|        |                                                                                                            | 行動指針                                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 品質方針   | お客様と社会の要求を把握し、品質と信頼を追求するとともに、全ての活動における仕事の質を向上させて、お客様の満足と安心いただける製品・サービスを提供する。                               | <ol style="list-style-type: none"><li>1.お客様志向(思考)</li><li>2.革新への積極的取り組み</li><li>3.継続的レベルアップ</li><li>4.実践の容易化</li></ol>                                                    |
| 環境方針   | 鹿島道路は、社会資本整備を担う建設業の一員として、人と地球の豊かで快適な環境作りに重要な役割と責任を担っている。この使命を果たすことにより、地球環境保全と経済活動が両立する持続的発展が可能な社会の実現に貢献する。 | <ol style="list-style-type: none"><li>1.汚染予防と環境負荷の低減</li><li>2.環境保全に関わる技術開発の推進</li><li>3.環境関連法規及び当社が同意した要求等の順守</li><li>4.情報開示を含めた社内外のコミュニケーション</li></ol>                  |
| 安全衛生方針 | 人命尊重の安全衛生理念に基づき、法規制等を遵守し、安全衛生活動を積極的に推進して、労働災害の防止及び安全で快適な職場環境の形成を図り、生産性の向上に資するとともに社会の信頼確保と会社の持続的な発展を目指す。    | <ol style="list-style-type: none"><li>1.労働安全衛生に関する法規制及び社内規程の遵守</li><li>2.協力会社と一体による安全衛生活動の推進</li><li>3.安全施工サイクルの運用による災害・事故防止</li><li>4.ワークライフバランスの推進と安全な職場環境の形成</li></ol> |

# 鹿島グループが実践するCSR

## 鹿島グループのCSRの枠組み

鹿島グループは、鹿島建設の「社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念に基づいて「CSRの枠組み」を定め、グループ全体でCSR活動を進めています。



### CSRの目的

鹿島のCSRの本質は、社会や時代の要請に応え、公正な企業活動を通じて多様なステークホルダーと良好な関係を築き、保っていくことと考えています。建設業の成果は長い期間にわたって、直接社会や人々の生活を支えるものであり、社会や顧客の永続的な信頼のもとに、社会の持続的な向上と建設業、ひいては当社の安定的な発展を共存させていくことが、鹿島のCSRの実践で目指すものです。

### CSRの基本

「CSRの目的」を果たすためには、何よりもまず高い企業倫理と強い使命感に貫かれた誠実な企業であるとともに、たゆまぬ研鑽による高度な技術力をもとに、良質なインフラや建物・サービスを提供し続けることが肝要です。社会や顧客からの信頼の基盤は確かな品質にあります。「良質なインフラや建物・サービスの提供」によって信頼を築き、社会への貢献と、顧客の便利・快適・安心の充足を通じて永続的な評価を受けることが、鹿島のCSRの基本です。

## △「CSRの基本」を織り成す5つの要素

### コンプライアンスの徹底

建設業界が「貢献度は高いが、好感度は低い」との評価をこれまで受けてきましたが、社会や人の生活を支える仕事の責任の重さを考える時、信頼される企業への努力の大切さを改めて認識しています。コンプライアンスの徹底とは、諸法令の遵守は当然として、さらに高い企業倫理に貫かれた誠実な企業を社員一人ひとりが目指すことです。

P.12

### 働くことに誇りを持てる会社

建設業は、多くの職種の協力会社の人々と一体となって工事の完成を目指して努力しており、まさに一人ひとりの能力が財産と言えます。多くの人々が働く現場が、安全で相互に信頼し合え、かつ私たちの仕事が社会を支えているとの使命感に満ちた「働きやすく誇りある」現場であるよう、環境の整備と意識の啓発に努めています。

P.14

### 地球環境保全と環境創造

建設業は資源多消費産業であり、自然環境に手を加えることが多い産業です。環境に対しては常に感度が高く、礼儀正しい企業でありたいと思っています。地球環境の保全は「次世代への責務」と考え、顧客への前向きな企画提案とともに、日々の事業活動における環境負荷の低減に注力していきます。

P.16

### 地域社会との共生

建設業は、工事の近隣を含む地域社会の理解と協力なしには円滑な事業遂行ができません。なお、自然災害大国の日本において、自然災害発生時における主体的役割や備えも建設業に期待されるCSR活動の例です。

P.18

### ステークホルダーとのコミュニケーション

建設業界はこれまで社会的使命や日々の事業活動について、必ずしも積極的に社会に対して発信してこなかった部分があります。誠実な情報発信もまた企業への信頼の基本であることをふまえ、社会への関心と貢献に関してもっと積極的かつ熱心に情報発信を行い、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを図っていきます。

P.20

#### 鹿島グループ企業行動規範

##### 1 公正で誠実な企業活動

- 1 法令の遵守と良識ある行動
- 2 社会のニーズと顧客満足の重視
- 3 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引
- 4 知的財産、その他の権利・財産等の保護
- 5 政治・行政との透明な関係
- 6 反社会的行為の根絶
- 7 企業会計の適正性確保

##### 2 社会との調和

- 1 社会との良好な関係の構築
- 2 あらゆる国、地域における文化、慣習の尊重
- 3 適時、適切な開示とコミュニケーション

##### 3 人間尊重

- 1 差別や不当な取扱いの禁止
- 2 安全で働きやすい職場環境の確保
- 3 能力、個性を尊重した人事処遇、人材育成
- 4 児童労働・強制労働の禁止

##### 4 環境への責任

- 1 環境問題への取り組み

##### 5 企業行動規範の運用

- 1 教育と啓蒙
- 2 実効ある社内体制の整備

##### 6 違背する事態が発生した場合

- 1 再発防止と説明責任
- 2 厳正な処分

# 鹿島道路の使命

## 現在の社会から求められているもの

わが国の道路構造物は、高度経済成長期に大量に建設され、予想を上回る交通量の増加や車両の大型化等もあり、今後老朽化が急速に進行することが想定されています。トンネル崩落事故に見られるように老朽化による被害のリスクは高まる一方であり、適切なタイミングでの補修・補強や長寿命化などの戦略的な維持管理・更新が求められています。そのため、特に橋梁分野については、専門技術者による「構造物解析対策グループ」をいち早く立ち上げ、維持補修ならびに長寿命化に対する対応強化を図っています。

## 鹿島道路の目指す道づくり

鹿島道路は、これまで国民生活を支える社会資産である道路の建設や維持活動を通じて、様々なニーズに応えるため、技術開発に取り組んできました。

近年、交通体系の中核である道路は、地域・都市づくりの社会基盤、情報化や環境保全等の新しいライフスタイルへの対応など、国土を支える道路には様々な役割や機能が求められるようになっていきます。

例えば防災面においては、大規模災害などの有事に際し、早期に復旧・解放することにより、救援・救助活動、物資の輸送活動の経路としての役割や避難路・避難場所としての機能を求められています。

また環境面においては夏の節電対策として、路面温度を抑制する技術の開発・利用が進められています。このような多様化するニーズにこたえるため、人々が安心・安全に暮らせる生活基盤の整備と快適な環境づくりを目指して、技術の開発に取り組んでいます。

### 調査

道路舗装の維持管理は、まず現状の舗装健全度を評価するため、事前に調査を行います。鹿島道路は、舗装構造や路面性状の各種調査用ツールで全国の道路舗装の調査を実施しています。そして、調査結果をもとに、修繕の要否の判定や維持補修工法の検討、修繕計画の立案などを行っています。

## 多機能路面測定システム

主な施工実績 一般国道、都道府県道、市町村道

### 一般車を利用した簡易型路面測定システム

多機能路面測定車システムは一般車両にて対象路線を走行しながら路面を撮影し、車軸に生じる加速度やタイヤ路面騒音を同時に計測することによって、舗装路面の健全度を評価する新しい路面測定システムです。

従来の道路舗装の調査では、交通規制を行い目視で確認することや、大型の特殊測定車両を用いるなど、多大な労力と時間、費用がかかるといった問題点がありました。本システムは、乗用車にCCDカメラや加速度計などの機器を取り付けるだけで測定できることが特長です。



市道における測定状況

## 補修・修繕

鹿島道路は、様々な現場条件や適用箇所、制約条件に対応し、道路管理者や沿道住民の方々の負担を軽減する各種舗装工法を開発し、これらの特殊工法を活用することで、道路舗装の適切な補修・修繕作業に取り組んでいます。

## SKS工法

主な施工実績 一般国道、都道府県道、市町村道

### 経済性に優れ、工程短縮が可能な安定処理路盤工法

SKS工法は、舗装の構造に起因するひび割れやわだち掘れが発生した路面の舗装補修工法です。フォームトアスファルトを用いて湿潤状態の細粒分を含む材料、低品質骨材、アスファルト再生骨材なども常温混合安定処理します。

アスファルト乳剤を使用した常温混合工法に比べ強度発現が早く、施工直後の交通開放が可能です。また、セメント安定処理に比べ、たわみ性を有しており、ひび割れが生じにくく耐久性に優れているのが特長です。



高速道路上での施工状況

## ヒートスティック工法

主な施工実績 都道府県道、市町村道

### 安価で廃材が発生しない環境にやさしい薄層オーバーレイ工法

ヒートスティック工法は、ロードヒータ車を用い、既設舗装を劣化させることなく加熱・掻きほぐし、直ちに新規アスファルト混合物を打ち継ぐことで、既設アスファルト混合物と新規アスファルト混合物の接着性を高め、タックコート※1をせずに薄層(2~3cm)のオーバーレイを行う工法です。

既設路面をスカリファイア※2で掻きほぐすことで接着力の強化を図ります。また、加熱した既設アスコンと新規アスコンを同時に転圧するため、一体化したアスコン層となります。軽微なひび割れ箇所や路面の段差解消のほか、主に美観・走行感の改善(平たん性など)を要する箇所に適用されます。

※1 タックコート  
表層と基層を付着させるアスファルト乳剤

※2 スカリファイア  
掻きほぐし用のくしの歯



施工状況

## 除 染

### 道路高圧除染車

鹿島建設と共同で、「道路高圧除染車」を開発しました。排水性機能回復車をベースマシンとして改良・改造し、路面上に高圧水を吹き付け、洗浄水と同時に放射性物質を回収する技術です。

除染機械として、水ユニット高圧化、噴射ノズル改良、さらに洗浄水回収機能の向上により、二次汚染防止を図っています。汚染濃度の高い地域から低い地域まで、幅広く使用されることが期待されます。



道路高圧除染車



# SFRCボンド補強工法

## — レインボーブリッジにおける施工事例 —

### 採用の背景

近年、大型車の交通量が多い路線を中心に、鋼床版の疲労損傷事例が報告されています。疲労損傷にはいくつかのタイプがありますが、デッキプレートとUリブの溶接ルート部を起点として、デッキプレートに進展する疲労き裂は、10年ほど前に発見されたこれまでは事例がなかった損傷です。このき裂が進展すれば、舗装の損傷や路面の平坦性を損なうだけでなく、過度に進展すると路面陥没を引き起こす恐れもあります。

このため、鋼床版の疲労損傷については、鋼床版橋梁を有する各道路管理機関で精力的に検討されており、その対策として、高耐久型エポキシ接着剤により鋼床版とSFRCの一体化を図る「鋼床版SFRC工法」の有効性が広く認められるようになってきました。

### 鋼床版疲労に対する延命対策

首都高11号台場線、通称「レインボーブリッジ」は、1993年に開通した、比較的新しい橋として広く認識されています。1989年開通のベイブリッジや1994年開通の鶴見つばさ橋と並んで、日本でも有名な橋の一つであり、首都高速の象徴にもなっています。

しかし、車両の大型化や交通量の増大などによって疲労が進展し、首都高速道路では、2002年度から鋼床版の疲労対策方法を検討し始め、SFRCによる鋼床版補強工法を確立してきました。当社はベイブリッジや鶴見つばさ橋、舞浜大橋など、2006年度からのパイロット工事を行った経験を生かし、11号台場線のつり橋部のSFRC補強工事を行いました。



## SFRCボンド補強工法

フレッシュコンクリートと鋼材またはコンクリートとの接合用に開発されたKSボンドを使用した工法です。研掃※<sup>1</sup>した鋼床版面にKSボンドを塗布して、ボンドの可使時間内(硬化前)にSFRC※<sup>2</sup>を敷きならして接着させます。

### ※1 研掃

スチールショットを叩きつけて錆や汚れを除去する

### ※2 SFRC

鋼繊維補強コンクリート  
(Steel Fiber Reinforced Concrete)



アスファルト舗装の機械切削



アスファルト舗装の人力取り壊し



既設鋼床版の研掃



高耐久型エポキシ接着剤(KSボンド)塗布



機械によるコンクリートの打設

## Voice / 現場社員の声

横浜支店 係長 高木 昭典



上り線は一車線を供用させながら、3班同時施工を2回行い、下り線の2日間はレインボーブリッジを通行止めにしての工事でした。関係機関の数が10箇所程度あり、事前の協議・調整、中止の際の調整に係る資料作成を行いました。また、上下線ともに500mの規制帯の中で3班が同時施工し、1班の関係者が100名程度、出入り車両が50台以上あり、施工検討時間のうちの多くを、車両出入りや人員配置のシミュレーションに費やしました。工事は当初5月完了予定でしたが、天候により6月まで延びました。施工条件が春から夏へと変化した為、高温時の鋼床版上の残アスファルトの撤去方法等、施工方法や人員配置を再検討するとともに、その為の教育訓練を行うことにより、厳しい条件の中協力会社と団結し無事に終えることができました。

## Voice / 協力会社の声

有限会社 浜健 江川 誠 様



SFRCの施工に当たっては、関係する鹿島道路の方々をはじめ、協力会社全員による、安全大会や顔合せ、最終打合せなど、工事施工前に本番のための綿密な打合せを何度も行いました。しかし、本施工がタイムテーブル通りにいかないことがあります。施工条件や気象条件が同じではないということもありますが、現場で作業する人間も、今までの固定概念にとらわれず、日々現場作業の中で創意工夫の向上心を持って作業に当たる必要があります。時間を要する作業なので、まだまだ工夫する余地が残されていると感じています。

また、SFRCは、数多くの業者が共同で作り上げる商品です。さらなる品質向上のため、より一層他の協力会社および鹿島道路様との綿密な打合せや、技術力向上への意見交換を行っていきたいと思います。

# コンプライアンスの徹底

信頼される企業であるために

企業の行動には、これまで以上に正しい姿勢が求められており、法律などに対する違反・倫理上問題になる行為や失敗が起こらないようなくみづくりが重要になっています。また同時に、自社の行動や内容が外部によく見える（透明性）、よく伝える（情報開示、説明責任）などの取り組みも必要になっています。鹿島道路は、すべてのステークホルダーの皆さまに信頼される企業であり続けるため、鹿島グループの一員としてコンプライアンスを徹底し、リスクを管理しながら業務を適正に遂行するための内部統制システムの整備を推進しています。

## ●コンプライアンス・マニュアルの制定と浸透

健全な企業活動を行うためのしくみの一つとして、企業行動規範をつくり、全役員・社員に理解させ、実践を促しています。

「鹿島グループ企業行動規範」を採択し全役員・社員にその小冊子を配布し、2012年末に実践の手引きを改訂するとともに、通達を発し、社内のイントラネットにも掲載してコンプライアンス意識の徹底を図りました。

鹿島道路では、毎年鹿島建設からのeラーニング(インターネットによる教育)による研修で、鹿島グループ企業行動規範がどのように理解され、浸透しているかを確認しています。

2012年度は、1,707名(関連従業員含む)が受講をしました。今後も定期的に実施する予定です。

## ● 談合防止体制の運用強化

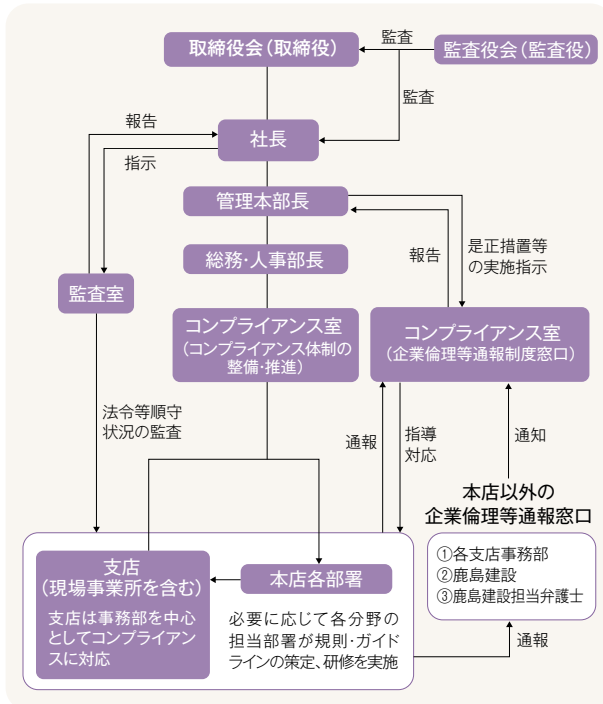
鹿島道路では、2007年8月に談合防止体制を整備し、公共工事などにおける入札プロセスの明確化、各段階での決定経緯の記録・保管を義務付けるとともに、社外会合の参加にも一定の制限を設けています。この順守状況をチェックし、法令違反を疑われる行為を行っていないことを確認するとともに、毎年4月1日付で営業に携わる役員・社員から談合を行わないことの誓約書の提出を求めています。

また2012年3月と10月には独占禁止法委員会を開催しています。さらに、毎年鹿島建設の主催する独占禁止法研修会にも営業担当者(2012年度48名)を出席させて、法令順守の意識の啓蒙を図っています。

## ●反社会的行為の根絶

「鹿島グループ企業行動規範」において、暴力団対策法などの趣旨に則り、暴力団をはじめとする反社会的勢力と一切関係を持たないことを宣言しています。数次にわたる協力会社に対しても同様に実施しています。また、社内の講習会等で「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」「暴力団を利用しない」「暴力団と交際しない」の「4ない」の推進を行っています。2012年6月に反社会的勢力対応の規程および反社会的勢力対応の手引きの作成をし、周知徹底を図っています。

## コンプライアンス体制



●協力会社との適切な取引

建設業では、施主から工事を直接発注される元請会社が品質や工程を管理し、専門職である協力会社に各工程・作業を発注することで工事を施工します。

適正な施工体制のもとで運営すること、協力会社との契約締結・履行を徹底し、信頼関係を持つことが大切です。取引上の地位を利用し、不当に低い発注金額で協力会社と請負契約を締結することや、下請代金の支払を遅らせることや、一般の金融機関による割引を受けることが困難と認められる手形の発行を行いません。



## ● 内部通報制度の整備

鹿島道路では、役員・社員などによる法令違反や不正行為の発生（あるいはその兆候）を知った者から直接通報を受け付けるホットライン企業倫理等通報制度を整備しています。また、鹿島グループとしての鹿島建設への通報制度も併せて完備しています。

内部通報制度は実名での通報が原則ですが、匿名による通報も可能であり、できる限り実名通報と同様に扱います。匿名通報者も探索しません。

## 情報セキュリティと企業としての信頼

### ● 情報セキュリティの意識向上

鹿島道路では、顧客および取引先の信頼を得るため、個人情報をはじめとした顧客情報や企業情報などを保護する目的で「情報セキュリティポリシー」\*を制定しています。これは、社員が情報資産をどのような脅威からどのように守るのかについての基本的な考え方と、情報セキュリティを確保するための具体的な行動を示した規程です。2012年度はパソコン無操作時の動作設定変更や内蔵ハードディスク暗号化パソコンの導入を開始しました。また、ネットワークを利用したeラーニングと自己点検を通して情報セキュリティ啓蒙教育を行い、定期的な情報セキュリティパトロールにより、その効果を確認しています。

※情報セキュリティポリシー

「情報セキュリティ規程」、「情報セキュリティ対策行動規範」、「情報セキュリティ実施要領」によって構成

### 2012年度の活動内容

|     |                            |
|-----|----------------------------|
| 6月  | 情報セキュリティ強化（パソコン無操作時動作設定変更） |
|     | 内蔵ハードディスク暗号化パソコン導入開始       |
| 7月  | 情報セキュリティ対策行動規範一部改正         |
| 8月  | 情報セキュリティ eラーニング（全社員）       |
| 9月  | 情報セキュリティ自己点検（全社員）          |
| 11月 | 情報セキュリティパトロール              |

## 内部統制への対応

### ● 会社法におけるリスク管理と活動内容

法令、品質・生産、労働安全衛生をはじめとした様々なリスクを把握・特定することから始まり、リスクの発生防止と低減のために全社的活動を実施しています。また、仮にリスクが実際に発生した際には、リスクによる被害を最小限に抑える措置を講じます。

### 2012年度の活動内容

|           |                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------|
| 6月        | 各部署、各支店、子会社「リスク自己点検実施計画書」を作成し、鹿島建設へ提出しています。      |
| 9月、12月、3月 | 計画書に基づき、実施した結果を年に3回監査室へ提出しています。                  |
| 1月        | その前年の12月までの実施記録を取り纏め、経営者に報告の上、鹿島建設に提出しています。      |
| 5月（次年度）   | 一年間のリスク自己点検実施記録を取り纏め、「リスク管理委員会」を開催し、取締役会に諮っています。 |

### ● 金融商品取引法における内部統制

財務報告に係る内部統制が有効に機能していることを確認するため、内部統制運用状況の自己点検を実施し、不備事項が発見された場合は、改善確認と再評価を実施しています。

#### 活動内容

- 1 監査室が各支店（北陸、合材は除く）の業務プロセスについて自己点検結果に基づき、評価をしています。
- 2 鹿島建設から金融商品取引法に関する監査を受け、結果について取締役会に諮っています。

### ● 会計業務監査の実施

支店、管下事業所、および子会社の会計業務監査を実施しています。（法規・社内リスク自己点検・ルールへの順守度チェック）

#### 活動内容

期首に計画書を作成し、規程、ルールからの逸脱がないかどうかを毎月監査し、社長ほか役員に報告書を提出しています。改善を要する点については関連部署にも報告しています。

# 働くことに誇りを持てる会社

## 人材育成

鹿島道路では「人間力」をキーワードとして、人材育成に取り組んでいます。

現代のような高度情報化社会においても、最終的には「人間力」が不可欠であると考え、eラーニングや社外講師による講演会を実施して、様々な視点から研修を行っています。

### ●新入社員研修

#### 合気道研修

学生気分からの脱却と社会人としての精神修養を目的として、合宿形式による合気道研修を実施しています。武道における礼儀・礼節の一端に触れ、相手に対する心の向け方や間合いの取り方、呼吸や正しい姿勢を通じて、心と身体の伴ったコミュニケーション方法や職場でのストレス耐性を高める方法を習得しています。



研修風景

### ●なでしこエンジニアの会

情報化施工<sup>\*</sup>で活躍する女性社員を対象とし、施工会社、建機メーカー、測量機器メーカーから参加している会です。2012年に発足し、それぞれの業務を通じて交流を深め、情報化施工の普及と促進を目指しています。

Voice

#### 第1回なでしこエンジニアの会に参加して

女性社員が情報交換を目的とする「なでしこエンジニアの会」を旗揚げし、私は第1回に参加させていただきました。土木業界は女性社員が少ないため、女性社員ならではの様々な悩みや苦勞など意見交換をしました。意見交換では、女性の技術系社員の採用が活発な会社や女性が監理技術者として活躍している会社もあり、強い印象を受けました。今後、当社も女性の技術系社員が活躍できる場面が増えてほしいと思いました。



関西支店 中臣 菜摘

#### 第3回なでしこエンジニアの会に参加して

第1、2回は討論会と情報交換会だけでしたが、今回は機械見学および同乗と内容が進化しているとのことでした。今年入った方からベテランの方まで他社の方との交流ができ、普段見られない情報化施工機械・大型重機が見学でき実りある一日となりました。リーダーの方もおっしゃっていましたが、今後第4回、5回と続き多くのなでしこたちが参加し、建設業界の女性進出がより進むことになればと思います。



工事部調査設計課 渡部 優子

#### ※情報化施工

情報通信技術 (ICT) を建設施工に活用して生産性の向上や品質の向上、安全性の向上を図ることを目的としたシステム (ICT: Information & Communication Technology)

## 中部支店での取り組み

### アスファルトプラント品質管理担当者、 機械担当者合同勉強会

品質管理担当者、機械担当者合同の勉強会を行いました。出荷材品質の確保、プラント稼働燃費の向上、電力の削減、



環境の改善などをテーマとし、普段はそれぞれ離れた職場で担当も異なる者同士が意見交換することで、より理解を深め合うことができました。

### 地元の道路会社を対象とした

#### アスファルト混合物の配合設計研修

地元協力会社を対象として、毎年2回、累計8回実施しています。アスファルト混合物がどのようにして造られるのか、配合設計研修を通じて学習してもらうのが目的です。

また、製造所内設備の見学や最近の舗装技術について勉強して、技術力の向上になることも目的としています。協力会社社員の資格取得に役立つと好評を得ています。また、相互の連携を高めることができました。



## ワークライフバランス

### ●記念日休暇制度創設

ワークライフバランスの推進としては、従来の休暇に加え、各個人が年に1日記念日として希望した日に取得できる「記念日休暇」を新たに創設し、社員一人ひとりが仕事もプライベートも充実し、生きがいを持って働ける環境づくりを支援しています。

#### その他の休暇

- 永年勤続特別休暇
- 子の結婚休暇
- 子の学校行事休暇 ほか

## 安全な労働環境の整備

### ●死亡・重篤・重大災害ゼロを目指して(活動実施状況)

鹿島道路は、安全衛生方針に則り、災害発生防止に努めています。

#### 安全衛生方針

1. 安全衛生・環境関係法規及び会社方針、社内基準等を順守しあらゆる違反行為をなくす
2. リスクアセスメントを基軸とした、労働災害防止活動を積極的に推進し、継続的施策により、災害・事故の三要因(人的・物的・管理的要因)を排除する
3. 真の原因究明と責任の明確化、背景の顕在化による、繰返す類似災害の再発を防止する
4. 環境法令順守の指導強化と継続的教育を実施し、適正契約とマニフェスト管理及び現場での廃棄物の分別を徹底する

### 2012年度目標値と実績および活動実施状況

|     | 死亡・重篤・重大災害 | 度数率    | 強度率    |
|-----|------------|--------|--------|
| 目 標 | 0件         | 1.00以下 | 0.02以下 |
| 実 績 | 0件         | 0.72   | 0.01   |

| 重点課題                | 実施項目      | 実施計画    | 実施状況              | 補足                                  |
|---------------------|-----------|---------|-------------------|-------------------------------------|
| 効率的な教育の実施による災害事故の予防 | 各種教育      | 27回／年   | 19回               | 職長・統括・周知会・環境教育                      |
| 定期的現場点検と実効性のある継続的指導 | 安全環境パトロール | 150現場／年 | 146現場             | ①6-7月<br>②9-10月<br>③12-1月<br>④3月に実施 |
| 再発防止対策の充実           | 災害事故事例の展開 |         | 115事例<br>内他社事例12件 | HPIに掲載(含他社事例)(リスクアセスメント付)           |
| 産業廃棄物の適正処理          | パトロール     | 50現場／年  | 55現場              | ①6-7月<br>②9-10月<br>③12-1月<br>④3月に実施 |

Voice

### 海外工事に従事して

海外工事に従事して12年がたち、赴任した地域はアフリカ、東南アジア、そして今回のベトナムで6カ国目になります。初めての国へ行き、初めての環境の中で、初めて会う現地の人々とともに仕事をするということになります。もちろん、彼ら現地スタッフとは言語・人種・宗教・思想も違います。彼らとともに仕事を完成させるためには、いかにうまくコミュニケーションを取るかがとても重要となります。コミュニケーションの中には言語、描写、身振り(そのほかにも気合、目力、精神感応など)があり、それらを状況に応じて使い分け意志を伝達し合うことで、そのうちに言いたいことがお互いに分かるようになり、現場がスムーズに流れていきます。海外で工事ができるのは、当社の人材や技術力があってこそだと大変強く感じています。今後もこの強みを生かして他社、他国の同業者に負けないような仕事を海外でしていきたいと思っています。



ベトナム工事現場

海外事業部 國岡 英人

### 「働くお父さんへ」家族からのメッセージ

たまにしか会えなくて寂しいです。学校の休みとお父さんの一時帰国が重なるといいな。そしたら、たくさん遊べるからです。半年に一回のお休みだけでもいつも楽しみに待っています。お土産も楽しみのひとつですが、アフリカの黒いお面は怖いのでういいます。病気とか怪我が心配だけど体に気を付けて頑張ってね。僕も頑張るからね。



左 (長男) 國岡俊介(しゅんすけ) 君  
右上 (次男) 丈記(たけき) 君  
右下 (三男) 亮太(りょうた) 君

## 環境マネジメントシステム

## ● 環境マネジメントシステムの目標と実績

## 環境方針

鹿島道路は、社会資本整備を担う建設業界の一員として、人と地球の豊かで快適な環境づくりに重要な役割と責任を担っています。

この使命を果たすことにより、地球環境保全と経済活動が両立する持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

## 行動方針

1. 汚染予防と環境負荷の低減
2. 環境保全に関わる技術開発の推進
3. 環境関連法規及び当社が同意した要求等の順守
4. 情報開示を含めた社内外のコミュニケーション

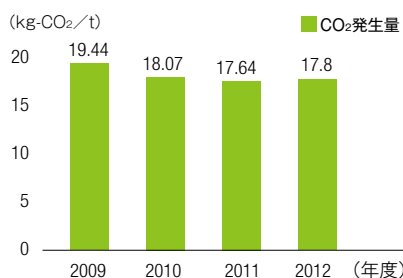
## 1 | 汚染予防と環境負荷の低減

😊 達成    😞 概ね達成    😞 未達成

| 項目     | 2012年度目標                                               | 評価 | 2012年度実績                          |
|--------|--------------------------------------------------------|----|-----------------------------------|
| 施工(土木) | 地球温暖化防止への寄与、CO <sub>2</sub> 発生量の削減                     | 😊  | CO <sub>2</sub> 削減率 標準算出量から4.4%削減 |
| 施工(建築) | 廃棄物の増加抑制、混合廃棄物の削減                                      | 😊  | 4.79t/億                           |
| 製造     | 再生骨材使用率の向上                                             | 😊  | 1.3%増                             |
|        | CO <sub>2</sub> 発生量の削減、製造量1t当たりのCO <sub>2</sub> 発生量の削減 | 😊  | 8.4%削減                            |
| オフィス   | 事業所の固有活動によるCO <sub>2</sub> 削減(照明器具)                    | 😊  | 3t/年減                             |

● 製造関連におけるCO<sub>2</sub>削減

製造関連では燃料のガス化や高効率バーナーの採用によって環境負荷低減に取り組んでいます。CO<sub>2</sub>の総量は2009年度78.8千tから出荷量に比例して年々減少しましたが、2012年度は一転増加しています。しかし原単位(t当たり)では2009年度比8.4%削減しています。

製品部門CO<sub>2</sub>原単位(t)当たりの発生量

高効率バーナー採用によるCO<sub>2</sub>削減

## ● 改正省エネ法への対応

2012年度の対前年度比の原単位は99.3%で、0.7%削減できました。

管理指定工場における改善が全社に及ぼす影響が大きいことから、合材生産量アップとともに老朽設備の高効率設備への更新、燃費改善活動の継続が必要になっています。

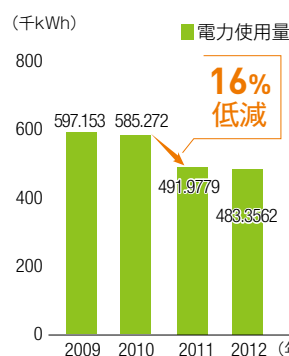
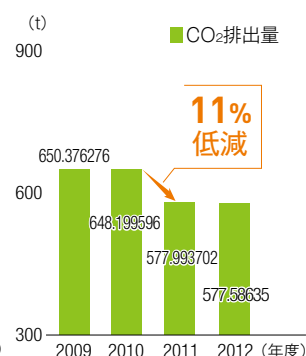
● 本支店におけるCO<sub>2</sub>削減

鹿島道路では、2011年度よりCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する高効率反射板照明器具を本店および東京支店に導入しました。これは、通常の蛍光灯1本で2本相当の明るさを維持するもので、電気使用量を大幅に削減できました。

2012年度も引き続き、CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する活動を行い、2011年度とほぼ同じ排出量を維持していることを確認しました。(0.07%減)

今後は活動を監視していくとともに、ペーパーレス活動およびグリーン調達など、様々な活動を通して、環境負荷低減を実現します。

## オフィス電力量の削減(本社ビル)

CO<sub>2</sub>排出量(本支店)

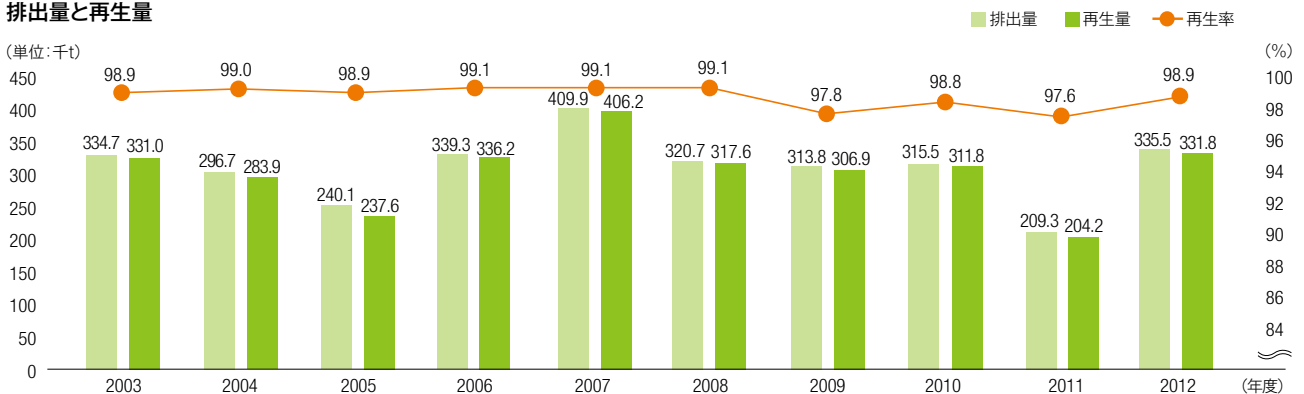


## ●産業廃棄物排出量と再資源化(再生)率

2012年度の産業廃棄物排出量は335千t(下図)で、内訳はアスファルトコンクリート塊とコンクリート塊が99%弱と大半を占めています。鹿島道路では廃棄物を「少なくすること(Reduce)」、「そのまま使えるものは使うこと(Reuse)」、

「手を加えてまた使えるようにすること(Recycle)」(3R)が重要と考えており、循環型社会への取り組みとして全国に中間処理施設を設け、アスコンやコンクリートのリサイクル事業を展開しています。2012年度の再資源化(再生)率は、ほぼ100%です。

排出量と再生量



## 2 | 環境保全に関わる技術開発の推進

### ●超低臭気型排水性トップコート工法

排水性トップコート工法は、ポーラスアスファルト舗装の普及とともに、重交通路の交差点や施工ジョイントなどの骨材飛散対策や耐久性向上を目的に開発・施工され、最近ではバス専用レーンやETCレーンのカラー化などにも適用され、年間およそ30万㎡の施工実績を有しています。

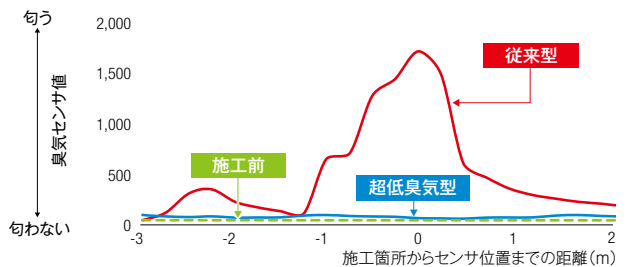
しかし、これまで用いられてきたMMA樹脂を使用したトップコート工法は、独特の強い臭気を有するため、都市部や住宅が密集している人口の多い地域などの施工においては、苦情の対象となることもあり、周辺環境への臭気対策が必要となることがありました。

鹿島道路では遮熱性舗装で既に用いている無臭に近い超低臭気型のポリウレタ樹脂を改良したトップコート工法を開発しました。

超低臭気型トップコート工法は、人口の多い地域の施工においても臭気に関して苦情の対象となることはなく、周辺環境に配慮した新しいトップコート工法です。試験施工時においても圧倒的な臭気の差をセンサーで確認しました。また、耐久性は従来工法と遜色なく、優れた骨材飛散抵抗性を有しています。



施工状況



## 3 | 環境関連法規及び当社が同意した要求等の順守

鹿島道路は、2012年度の施工、製造、設計、技術、オフィス等、全てに関する環境関連法規および要求等は100%順守されています。

## 4 | 情報開示を含めた社内外のコミュニケーション

鹿島道路は、2012年度において、社外向ホームページや各工場現場のホームページ、技術情報誌「KIT」、プレスリリースなどによって社内外とコミュニケーションを図っています。

## 地域社会貢献

### ●被災地岩手県上閉伊郡大槌町でボランティア活動

2012年度新入社員全員が、東日本大震災被災地の岩手県上閉伊郡大槌町で仮設住宅敷地内の砂利敷き作業などのボランティア活動を実施しました。新入社員は、被災地に自らの足で立ち、被災地の現状を自らの目で見つめ、被災地の復興を自らの頭で考えるとともに少しでも役に立ちたいという思いで取り組みました。初めての現場での作業となりま



仮設住宅周辺道路の砂利敷き作業

したが、仮設住宅に住む高齢者の方からたくさんの感謝の言葉をいただき、充実した活動となりました。



仮設住宅に住む高齢者の感謝の言葉が添えられた

### 被災地の仕事に従事して

北日本支店（東北地区）に配属されて10ヵ月が経ちました。現在は宮城県で震災の復興事業として、堤防を兼ね備えた道路を造っています。被災地で仕事をするのはこの現場が初めてで、現地の道路は徐々に直されているものの、まだ復旧は続いている状況です。ボランティア活動の時のように、町の人々がどのように思っているのか直接聞くことはできませんが、この道路ができることによって少しでも交通の便がよくなり、利用する人が多くなるようになってほしいと思います。そして、震災前のような状態に戻るよう自分ができることを頑張っていきたいです。

北日本支店仙台営業所管下  
古川出張所 若山 将貴



Voice

### ●北海道縦貫自動車道大沼舗装工事見学会

「北海道縦貫自動車道大沼舗装工事」において、森町立駒ヶ岳小学校の全校児童22名がアスファルトプラントを見学しました。児童たちは、ホタテの貝殻粉末入りアスファルト混合物や舗装についての説明を受け、高所作業車やローラーなどの機械に身近に触れ、貴重な体験をしました。



見学会の様子

### ●海水浴場での海岸清掃と小学生の誘導

三重県熊野市にある大泊海水浴場は、2012年6月の台風4号により、多くの流木が漂着するなどの被害を受けました。住民の方々や同地域の道路工事に携わっていた当社中部支店の社員を含む建設会社など約100人が参加し、人海戦術で流木の撤去を行い、同海水浴場の海開きに間に合わせることができました。また、JR大泊駅から小学生たちが遠足のために下車し、国道311号線へ出る際に、当社の社員が手旗を持って駆け付け、小学生が安全に横断できるよう交通整理を行い、地元新聞に掲載されました。



2012年7月1日南紀新報（朝刊）



清掃活動状況



2012年7月1日吉野熊新聞（朝刊）



## ●傷んだ鉄棒をきれいに塗装

北海道営業所では、札幌市手稲区内の市立前田中央小学校のグラウンドに設置されている鉄棒が傷んでいたこと



鉄棒塗装作業状況

から、色の落ちた支柱の塗装を職員9人で補修しました。また、学校で推進している花いっぱい運動のお手伝いをしたところ、全校集会で感謝状を贈呈されました。

### 教頭先生から お礼の言葉

職員室から見える薄茶けた鉄棒が、北海道営業所の方々のボランティアのお蔭で鮮やかな緑・ピンク・青・黄色の鉄棒に生まれ変わりました。休み時間になると、鉄棒で遊ぶ子供達が増えました。本当にありがとうございました。

前田中央小学校

澤波 隆信 教頭先生



Voice

## ●第11回ちびっこサッカーフェスティバル

北海道営業所が中心となって開催している小学2年生以下を対象とした「ちびっこサッカーフェスティバル」は、2002年に札幌近郊の8チームでスタートしましたが、第11回となる2012年の大会では、道内各地より24チームが会場し、鹿島道路杯をめぐって、元気一杯の白熱したプレーが繰り広げられました。



試合の様子

Voice

### 毎年充実した大会となっています

今回で11回目となる鹿島道路杯では前回と同様、東北震災への募金活動をお子たちとともにを行っています。また、子供たちはその大会に向け日々トレーニングに励んでおり、これからも一層のご協力をお願いいたします。

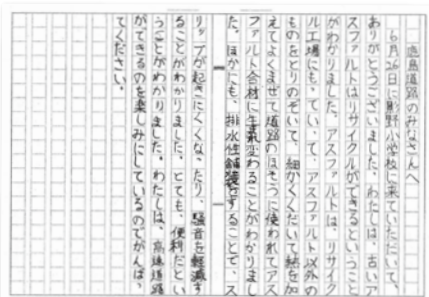


鹿島道路杯大会幹事  
前田中央フットボールクラブ  
代表 長谷山 雅光 様

## 地域イベントへの参加

### ●四万十川出前授業

中四国支店では、地元小学校や幼稚園を対象としてコミュニケーション授業(出前授業)を、地元との交流や工事のイメージアップを目的に、以前から実施しています。高知県四万十町立影野小学校の4年生から6年生を対象に排水性舗装や開通する道路の役目(事業紹介)などについて行った授業もとても好評で、最後の質問タイムが時間切れになってしまう程、児童も熱中し道路について興味・関心を持ってくれました。



生徒からのコメント



出前授業の様子

# ステークホルダーとのコミュニケーション

## ●お客様からの言葉

鹿島道路は、一定規模以上の工事施工完了後にお客様の施工に対する満足度アップを図るため、「お客様満足度シート」としてアンケートにご協力いただいております。お客

様からは、お褒めの御言葉だけでなく、ご指摘いただいた内容についても、改善できるように努めています。

### 東洋大学板倉キャンパス 女子サッカー部合宿所新築工事

施工中の会議では様々な意見交換ができ、素晴らしい建物に仕上がりました。また、厳しい工程の中、無事故で完成していただき感謝しています。



学校法人東洋大学 管財部管財課 叶内 孝 様より

### 被災地における災害廃棄物集積場現場

発注者から、市内集積場において他社と比較して優れた整理および管理がされた現場として高い評価をうけております。震災後の復旧および復興における企業の役割を十分に理解し、両社で共有できていることに感謝し、今後の事業活動に生かしていきたいと思っております。

元請地元建設会社様より

### 民間工場におけるケーブル管路埋設工事

地下埋設物が多く工事がやりにくい現場でしたが、事故やクレームはありませんでした。工期や予算がタイトであったにも関わらず、こちらの要望に応じていただき感謝しています。工場内のルールにも精通しており安心して工事を発注することができます。

元請ゼネコン工事担当者様より

### 物流会社倉庫外構工事にて

大変スムーズに施工いただき有難うございました。特に営業と工事の担当の方の打合せおよび提案、工事を潤滑に進めるための他社とのコミュニケーションが素晴らしかったです。当社としては遠方に出向いての工事で不安もありましたが、安心して工事を終えることができました。

元請建設会社様より

### 商業施設新築外構工事現場

隣接する道路が国道のため工事の担当の方が、国交省への折衝等にも協力いただき助かりました。工期、安全面でも満足のいくものでした。

元請ゼネコン工事担当者様より

## ●国土交通省より「工事成績優秀」「行政功労」企業として表彰されました

北日本支店が、国土交通省北海道開発局と東北地方整備局から、また、九州支店が九州地方整備局から工事成績が優秀であると認定を受けました。また、九州支店長崎営業所では行政功労事務所長表彰を受けました。



九州地方整備局局長表彰



工事成績優秀企業認定書



行政功労事務所長表彰式

## ●日本製紙株式会社様より 復興のお礼状

東日本大震災による壊滅的な被災以降、工場の復旧に尽力し、早期の工場再稼働が実現したことから、日本製紙株式会社石巻工場様よりお礼状をいただきました。





## 情報発信

### ●技術情報誌「KIT」の発行

2001年より技術情報誌「KIT」を発行し当社の技術や工法、施工実績、安全への取り組みなどの情報を年4回(4・7・10・1月)発行しています。



技術誌「KIT」

### ●ホームページからの情報発信

ホームページ(<http://www.kajimaro.co.jp/>)に会社情報をはじめ、技術や施工実績などを公開し、最新の活動内容をお届けしています。

また、施工や技術、採用などについて幅広く、皆さまからのお問い合わせを受け付けておりますので、どのようなことでもお問い合わせください。



鹿島道路ホームページ

### ●全国各地で技術フェアに出展しています

#### 2012土壌・地下水環境展

|     |             |     |          |
|-----|-------------|-----|----------|
| 期 間 | 10/17~10/19 | 会 場 | 東京ビッグサイト |
| 展示物 | 油汚染土壌浄化技術   |     |          |

#### EE東北'12

|     |                                                |     |         |
|-----|------------------------------------------------|-----|---------|
| 期 間 | 10/24~10/25                                    | 会 場 | 夢メッセみやぎ |
| 展示物 | 多機能路面測定システム、ラインリーダー、リベープ排水性舗装、ヒートスティック、グループラスト |     |         |

#### 建設技術フェア2012in中部

|     |                     |     |            |
|-----|---------------------|-----|------------|
| 期 間 | 10/25~10/26         | 会 場 | 国交省中部技術事務所 |
| 展示物 | エコベック、土系舗装(アスミックII) |     |            |

#### 建設技術報告会

|     |          |     |          |
|-----|----------|-----|----------|
| 期 間 | 10/31    | 会 場 | 金沢市文化ホール |
| 展示物 | ヒートスティック |     |          |

### ●3D-MC情報化施工現場見学会を開催

2012年11月15日、関東地方整備局発注の「圏央道真里谷地区改良その16工事」の現場において、情報化施工現場見学会(関東地方整備局主催)に全面協力しました。国土交通省、地方自治体をはじめ民間企業を含む61名の方が参加され、「3D-MC」、「転圧管理システム」、「データコレクタによる精度検証」、「TS出来形管理」の4つの内容を見



情報化施工現場見学会

学していただきました。当社は情報化施工推進グループを立ち上げ、情報化施工に積極的に力を入れています。

### ●土木学会の一員として研究論文を発表しています

2012年9月5日~7日、名古屋大学東山キャンパスにおいて、土木学会主催第67回年次学術講演会が開催されました。土木学会会員は教育、研究機関、諸官庁や建設業をはじめとした多岐にわたる民間企業から構成されており、毎年、学術講演会を開催しています。当社は「劣化床版における部分打替と上面増厚補強を併用した補修工法の耐疲労性評価」



第67回 年次学術講演会

をはじめ13本の研究論文を発表しました。当社は今後も土木学会をはじめとした研究機関に協力し、土木技術の発展に寄与していきます。

#### 建設フェアin四国

|     |                     |     |           |
|-----|---------------------|-----|-----------|
| 期 間 | 11/2~11/3           | 会 場 | 高松シンボルタワー |
| 展示物 | ヒートスティック、グループラスト、EP |     |           |

#### ハイウェイテクノフェア2012

|     |                                                    |     |          |
|-----|----------------------------------------------------|-----|----------|
| 期 間 | 11/15~11/16                                        | 会 場 | 東京ビッグサイト |
| 展示物 | ラインリーダー、L・Lライン、転圧管理システム、高強度PRO版工法、SFRCボンド補強工法(鋼床版) |     |          |

#### 建設技術フォーラム2012in広島

|     |                  |     |            |
|-----|------------------|-----|------------|
| 期 間 | 11/22~11/23      | 会 場 | 広島県立広島産業会館 |
| 展示物 | ヒートスティック、グループラスト |     |            |

## 第三者意見

### CSRレポート発刊によせて



溝呂木 敦  
Atsushi Mizoroki

#### 略歴

ソブリン・コンサルティング株式会社 代表取締役  
インプレッション株式会社 取締役  
Certification International (UK) Limited - Executive  
Corporate Adviser  
CFE 公認不正検査士  
CCSA 内部統制評価指導士

リスクマネジメントベースの企業経営に関する専門家として、事業運営、製品開発、製造、リソース管理、サービス、コンプライアンス、環境対策、IT/セキュリティ対策、エンパワーメント、倫理行動、法務、業事、国際事業などの分野に「システム」(=仕組み)を導入することで、成長促進とCSRの実現に向けて多くの企業をサポートしている。

従来の誌面構成と編集方針を大幅に一新して制作された今年度の報告書ですが、道路という「身近にありながら実は様々な技術が取り入れられている存在」の大きさを的確に伝えて、鹿島道路の技術の力強さを伝える良質な読み物として仕上がっています。

■特に下記の点については、実績・報告内容面でアドバンテージがあります。

1. 社会インフラの災害対策と老朽化対策に向けた技術開発に取り組み、SFRCボンド補強工法・SKS工法等の各種工法の導入によって、戦略的に補修・修繕を実現している点
2. コンプライアンス・マニュアルの制定と浸透に向けた取り組み

### 第三者意見を受けて

溝呂木先生、大変貴重なご意見をいただきまして感謝しております。

今回は鹿島道路のCSR活動に対し、多くの項目についてアドバンテージを認めていただきありがとうございます。これらの点については活動を充実させ、さらに深化させてまいります。

また、来年度のCSR報告書へ向けにご指摘いただきました点につきまして、ステークホルダーの皆様へ鹿島道路のことをさらにご理解いただけるよう、実績をより具体的に報告してまいります。そして、今後誌面の制約上掲載し切れなかった部分や補足情報につきましては、ホームページ等への掲載によってより充実した内容にしていきたいと思っております。

溝呂木先生よりご指導いただきました点を今後のCSR活動に活かし、ステークホルダーの皆様からさらに信頼されるとともに、なお一層の社会的責任を果たしていく企業を目指して努力してまいります。



代表取締役副社長 石川 誠一

3. 反社会的行為の根絶に向けた「4ない」活動
4. 会社法と金融商品取引法における内部統制を相互に整理して、それぞれの取り組みを取り上げている点
5. リスク管理について、「法令、品質・生産、労働安全衛生、環境、営業、受注、経営、財務、人事、システム、渉外、災害、広報」といった広範なリスクを包括的に取り扱い、リスクの把握・特定～対策措置に取り組んでいること
6. 労働安全面の目標設定と、目標に対する達成実績が成果につながっていること
7. 環境方針と行動方針を受けて、具体的な実績と目標・成果をリンクさせて報告していること
8. 超低臭気型排水性トップコート工法による周辺環境への配慮を実現していること

■一方、以下の点については、来年度へ向けに見直しと強化をはかることを期待します。

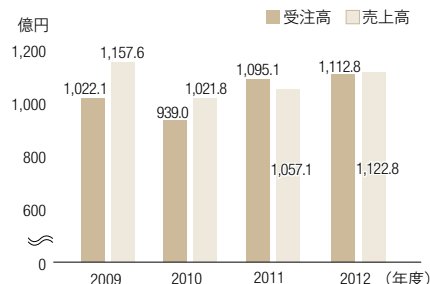
1. ①談合防止体制の運用強化、②ホットライン企業倫理等通報制度、③ワークライフバランスの各種休暇制度等について、実績の詳細に踏み込んだ報告とすること
2. 社長メッセージに「人を育てる」とあり、各所で「人材」に触れているだけに、企業の将来性に不可欠な雇用関連の実績情報を報告出来るよう、ホームページなどの他の公開先を整備すること
3. 誌面の頁数制約から、開示性のバランス面を確保するべく、掲載できない情報や補足情報をホームページ等に掲載してフォローすること(特に法的要件でもある“環境報告”を充実させて、CSR報告書を補完・開示出来るようにする工夫は必須)

# 会社データ

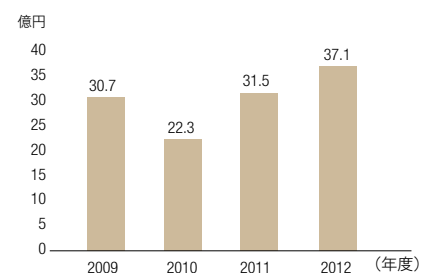
## ●コーポレートデータ

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 号   | 鹿島道路株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 設 立   | 1958年2月18日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 所 在 地 | 〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27 03-5802-8001                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 資 本 金 | 40億円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 従業員数  | 986名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事業内容  | 1.道路、滑走路などの舗装工事、防水工事、スポーツ施設、レジャー施設の建設工事およびその他の土木、建築工事の請負または受託<br>2.前号各工事の調査、企画、設計、監理および技術指導の請負または受託<br>3.建設用資材の製造および販売<br>4.建築工事に使用する機器および機械装置の設計、製造、販売および賃貸<br>5.一般廃棄物、産業廃棄物の収集、運搬、処理、資源再利用、建設資材の再生品の販売、環境汚染物質の調査、除去およびこれらに関するコンサルティング並びに電力・熱エネルギーの小売事業<br>6.土地の造成、不動産の売買、仲介、賃貸借および管理<br>7.道路他公共施設ならびにこれに準ずる施設の企画、建設、維持管理および受託<br>8.労働者派遣事業<br>9.前各号に関連または附帯する一切の事業 |

受注高および売上高



経常利益



## ●支店一覧

- ・北日本支店  
〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル  
022-216-8501
- ・関東支店  
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂4-6-9 鹿島浦和ビル  
048-872-8001
- ・東京支店  
〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27  
03-5802-8021
- ・横浜支店  
〒220-0001 神奈川県横浜市西区北郷井沢63  
045-312-8061
- ・北陸支店  
〒950-0986 新潟県新潟市中央区神道寺南2-6-15  
025-243-3851
- ・中部支店  
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-10-13 SC錦ANNEX 2階  
052-204-0770
- ・関西支店  
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル9F  
06-6910-3701
- ・中四国支店  
〒730-0037 広島県広島市中区中町6-13 鹿島建設ビル2F  
082-247-1851

- ・九州支店  
〒812-8665 福岡県福岡市博多区博多駅前3-12-10 鹿島建設ビル  
092-451-4356
- ・機械センター  
〒349-1125 埼玉県久喜市高柳2600  
0480-52-1311
- ・技術研究所  
〒182-0036 東京都調布市飛田給2-19-1  
042-483-0541

### 編集後記

今回の編集では、当社のCSR活動への取り組みだけでなく、活動に取り組む社員の思いも読者の方々に伝えていくことと、昨年のアンケートでいただいた沢山のご意見やご感想を今回の報告書に反映することによって、昨年よりも充実した内容にしていこう努めました。また、今年も多くの方々から編集にご協力をいただき、無事発行することができました。本当にありがとうございました。

これからも当社の様々な取り組みを広く知っていただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願いします。(経営企画部 名須)



鹿島道路株式会社 経営企画部  
〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27 03-5802-8003  
<http://www.kajimaro.co.jp/>



**FSC®認証紙の使用**  
適切に管理された森林の木材を原料にしている紙を使用しています。



**水なし印刷**  
有機物質を含んだ廃液が少ない、水なし印刷方式で印刷しています。



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの環境に配慮した100%植物油インキを使用しました。



環境に配慮した印刷工程と印刷資材を採用しています。

**FAX 03-5802-8017** 鹿島道路株式会社 経営企画部 行

この度、「鹿島道路CSR報告書2013」を発行しましたので、ご高覧の上、皆様の忌憚のないご意見やご感想をアンケート用紙、弊社ホームページからお寄せいただければ幸いです。

## Q1

「鹿島道路CSR報告書2013」の印象をお聞かせください。

- ① **わかりやすさ**    ☐ とてもわかりやすい    ☐ わかりやすい    ☐ 普通    ☐ わかりにくい    ☐ わからない
- ② **情報量**    ☐ 多すぎる    ☐ 多い    ☐ ちょうど良い    ☐ 少ない    ☐ 少なすぎる
- ③ **読みやすさ**    ☐ とても読みやすい    ☐ 読みやすい    ☐ 普通    ☐ 読みにくい    ☐ とても読みにくい
- (文字の大きさやデザイン、レイアウトなど)

## Q2

該当する内容の番号を下のリストから選んでご記入ください(複数回答可)。

- ① CSR活動について評価できる項目はどれですか？( )
- ② 説明が不十分と感じた項目はどれですか？ ( )

|       |                  |                 |                       |
|-------|------------------|-----------------|-----------------------|
| 本書の内容 | ❶ 社長メッセージ        | ❺ コンプライアンスの徹底   | ❾ ステークホルダーとのコミュニケーション |
|       | ❷ 鹿島道路のCSR       | ❻ 働くことに誇りを持てる会社 | ❿ 第三者意見               |
|       | ❸ 鹿島グループが実践するCSR | ❼ 地球環境保全と環境創造   | ㊀ 会社データ               |
|       | ❹ 特集 鹿島道路の使命     | ㊁ 地域社会との共生      |                       |

### Q3

本報告書や当社のCSR活動に対して、ご意見やご要望をお聞かせください。

## Q4

どのような立場でお読みになりましたか？

- ☐お客様      ☐お取引先      ☐株主・投資家      ☐教育・研究機関      ☐行政関係      ☐企業のCSR・環境担当者  
☐NGO・NPO      ☐協力会社      ☐学生      ☐鹿島道路グループの社員・家族      ☐その他( )

差し支えなければ、以下もご記入ください。

- 性別 ☐男性 ☐女性
- 年齢 ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代以上

ご記入いただいた個人情報については、次年度以降のCSR報告書の編集に活用する目的以外では利用いたしません。  
お問合せ窓口： 鹿島道路株式会社 経営企画部【TEL:03-5802-8003】